



2020年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東
 コード番号 7296 URL https://www.fcc-net.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 年真
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 松本 隆次郎 TEL 053-523-2400
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	43,438	△2.4	3,697	△22.6	3,143	△36.3	2,522	△23.3	2,470	△24.2	△426	—
2019年3月期第1四半期	44,510	8.9	4,774	58.9	4,935	47.2	3,288	42.7	3,258	43.5	3,432	66.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	49.73	—
2019年3月期第1四半期	64.93	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	169,351	125,618	124,003	73.2	2,495.65
2019年3月期	173,644	127,527	125,875	72.5	2,533.32

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	23.00	—	29.00	52.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	29.00	—	29.00	58.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	89,000	0.1	7,000	△21.5	7,200	△26.4	5,100	△25.5	5,000	△26.0	100.63
通期	180,000	1.3	16,000	1.0	16,200	△1.8	11,800	△1.4	11,600	△1.5	233.46

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	52,644,030株	2019年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,955,975株	2019年3月期	2,955,975株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	49,688,055株	2019年3月期1Q	50,188,144株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、米国においてフォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したものの、ZFやFCA向けの四輪車用クラッチの販売が減少したことに加え、インドの二輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は43,438百万円（前年同期比2.4%減）となりました。営業利益は、償却負担の増加等もあり3,697百万円（前年同期比22.6%減）となりました。税引前四半期利益は3,143百万円（前年同期比36.3%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,470百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(二輪車用クラッチ)

インドの二輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は19,971百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は2,536百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

(四輪車用クラッチ)

米国においてフォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したものの、ZFやFCA向けの販売が減少したことに加え、中国の長安フォード向けの販売が減少したこともあり、売上収益は23,466百万円（前年同期比0.5%減）となりました。営業利益は、償却負担の増加等もあり1,324百万円（前年同期比39.8%減）となりました。

地域別の状況は、次のとおりであります。

(日本)

二輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は5,541百万円（前年同期比11.4%減）、営業利益は282百万円（前年同期比47.6%減）となりました。

(米国)

ZFやFCA向けの四輪車用クラッチの販売が減少したものの、フォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は16,474百万円（前年同期比0.6%増）となりました。営業利益は、償却負担の増加等もあり637百万円（前年同期比57.9%減）となりました。

(アジア)

インドの二輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は19,658百万円（前年同期比3.5%減）となりました。営業利益は、インドネシアの増収効果等もあり2,407百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

(その他)

メキシコの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は1,763百万円（前年同期比17.0%増）となりました。営業利益は、メキシコの収益性改善等もあり88百万円（前年同期比169.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は83,140百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,880百万円減少しました。これは主に棚卸資産が501百万円増加したものの、現金及び現金同等物が1,639百万円、営業債権及びその他の債権が1,039百万円減少したことによるものであります。

(非流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の非流動資産は86,211百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,412百万円減少しました。これは主に有形固定資産が1,766百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は32,683百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,363百万円減少しました。これは主に営業債務及びその他の債務が428百万円増加したものの、借入金金が2,205百万円、その他の流動負債が724百万円減少したことによるものであります。

(非流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の非流動負債は11,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少しました。これは主にその他の金融負債が429百万円増加したものの、繰延税金負債が446百万円減少したことによるものであります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本は125,618百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,908百万円減少しました。これは主に利益剰余金が1,035百万円増加したものの、その他の資本の構成要素が2,907百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は30,804百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は5,591百万円となりました。これは主に税引前四半期利益3,143百万円、減価償却費及び償却費3,348百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,495百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,864百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3,677百万円となりました。これは主に短期借入金の純増減額2,119百万円、配当金の支払額1,420百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月26日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	32,444	30,804
営業債権及びその他の債権	28,080	27,040
その他の金融資産	1,625	1,735
棚卸資産	20,503	21,004
その他の流動資産	2,366	2,553
流動資産合計	85,020	83,140
非流動資産		
有形固定資産	69,786	68,020
のれん及び無形資産	4,201	4,328
持分法で会計処理されている投資	89	90
その他の金融資産	11,238	10,874
繰延税金資産	2,775	2,767
その他の非流動資産	532	129
非流動資産合計	88,624	86,211
資産合計	173,644	169,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	12,794	13,223
借入金	12,791	10,585
その他の金融負債	152	468
未払法人所得税	2,704	2,526
その他の流動負債	6,604	5,880
流動負債合計	35,046	32,683
非流動負債		
借入金	19	15
その他の金融負債	488	918
退職給付に係る負債	2,144	2,152
引当金	29	29
繰延税金負債	8,129	7,682
その他の非流動負債	258	250
非流動負債合計	11,069	11,048
負債合計	46,116	43,732
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	122,365	123,400
自己株式	△4,787	△4,787
その他の資本の構成要素	4,122	1,214
親会社の所有者に帰属する持分合計	125,875	124,003
非支配持分	1,652	1,614
資本合計	127,527	125,618
負債及び資本合計	173,644	169,351

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上収益	44,510	43,438
売上原価	△36,065	△36,006
売上総利益	8,445	7,431
販売費及び一般管理費	△3,881	△3,901
その他の収益	296	192
その他の費用	△85	△24
営業利益	4,774	3,697
金融収益	311	309
金融費用	△141	△860
持分法による投資損益	△9	△3
税引前四半期利益	4,935	3,143
法人所得税費用	△1,646	△620
四半期利益	3,288	2,522
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,258	2,470
非支配持分	30	51
四半期利益	3,288	2,522
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	64.93	49.73
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期利益	3,288	2,522
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△7	△2
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の公正価値の変動	△411	△310
計	△419	△312
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	561	△2,646
持分法適用会社におけるその他の包括 利益に対する持分	1	9
計	562	△2,636
その他の包括利益合計	143	△2,949
四半期包括利益	3,432	△426
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,389	△430
非支配持分	43	4
四半期包括利益	3,432	△426

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				
	資本金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	売却可能金融資産の公正価値の変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年4月1日時点の残高	4,175	112,828	△3,409	△1,156	4,872
会計方針の変更	—	△37	—	—	△4,872
修正再表示後の残高	4,175	112,791	△3,409	△1,156	—
四半期利益	—	3,258	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	543	—
四半期包括利益合計	—	3,258	—	543	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	△1,053	—	—	—
その他の資本の構成要素からの振替	—	25	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△1,028	△0	—	—
2018年6月30日時点の残高	4,175	115,021	△3,409	△612	—

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の変動	確定給付制度の再測定	合計	合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年4月1日時点の残高	—	—	3,716	117,311	1,589	118,900
会計方針の変更	4,872	—	—	△37	—	△37
修正再表示後の残高	4,872	—	3,716	117,274	1,589	118,863
四半期利益	—	—	—	3,258	30	3,288
その他の包括利益	△405	△7	130	130	12	143
四半期包括利益合計	△405	△7	130	3,389	43	3,432
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	—	△1,053	△96	△1,150
その他の資本の構成要素からの振替	△32	7	△25	—	—	—
所有者との取引額合計	△32	7	△25	△1,054	△96	△1,150
2018年6月30日時点の残高	4,434	—	3,821	119,609	1,536	121,146

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				
	資本金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	売却可能金融資産の公正価値の変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年4月1日時点の残高	4,175	122,365	△4,787	187	—
四半期利益	—	2,470	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△2,592	—
四半期包括利益合計	—	2,470	—	△2,592	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	△1,440	—	—	—
その他の資本の構成要素からの振替	—	5	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△1,435	—	—	—
2019年6月30日時点の残高	4,175	123,400	△4,787	△2,404	—

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の変動	確定給付制度の再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年4月1日時点の残高	3,934	—	4,122	125,875	1,652	127,527
四半期利益	—	—	—	2,470	51	2,522
その他の包括利益	△306	△2	△2,901	△2,901	△47	△2,949
四半期包括利益合計	△306	△2	△2,901	△430	4	△426
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△1,440	△41	△1,482
その他の資本の構成要素からの振替	△8	2	△5	—	—	—
所有者との取引額合計	△8	2	△5	△1,440	△41	△1,482
2019年6月30日時点の残高	3,619	—	1,214	124,003	1,614	125,618

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,935	3,143
減価償却費及び償却費	2,894	3,348
金融収益及び金融費用	△159	△255
持分法による投資損益 (△は益)	9	3
固定資産除売却損益 (△は益)	54	△7
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,204	△1,104
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	999	310
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,460	1,042
退職給付に係る負債の増減 (△は減少)	△72	34
その他	368	100
小計	6,364	6,617
利息及び配当金の受取額	190	284
利息の支払額	△69	△91
法人所得税の支払額	△943	△1,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,542	5,591
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200	△468
定期預金の払戻による収入	1,172	266
有形固定資産の取得による支出	△3,464	△1,864
有形固定資産の売却による収入	40	63
無形資産の取得による支出	△279	△312
無形資産の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△56	△21
貸付金の回収による収入	74	41
投資の取得による支出	△11	△182
その他	△44	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,768	△2,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△231	△2,119
リース負債の返済による支出	—	△96
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,038	△1,420
非支配株主への配当金の支払額	△96	△41
その他	△32	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,398	△3,677
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,375	△581
現金及び現金同等物の期首残高	25,230	32,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	△1,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,706	30,804

（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、IFRS第16号「リース」を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

IFRS第16号「リース」

IFRS第16号「リース」（以下、「IFRS第16号」）の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている、累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用し、比較年度の修正再表示は行っておりません。

IFRS第16号への移行に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、IFRS第16号の実務上の便法を適用し、IAS第17号「リース」（以下、「IAS第17号」）及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継いでおります。

従来、IAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日に、短期リース又は少額資産のリースを除き、使用権資産及びリース負債を認識しております。

使用権資産は、リース期間にわたり規則的に、減価償却を行っております。

短期リース及び少額資産のリースに係るリース料はリース期間にわたり定額法により費用として認識しております。

リース負債は、残存リース料を適用開始日における借手の追加借入利子率を用いて割り引いた現在価値で測定しております。当該追加借入利子率の加重平均は、0.31%であります。

使用権資産は、リース負債を認識する際に、リース負債と同額で認識しているため、期首利益剰余金への影響はありません。

また、当社グループは、IFRS第16号への移行に際し、以下の実務上の便法を適用しております。

- ・当初直接コストを適用開始日現在の使用権資産の測定から除外
- ・契約がリースの延長または解約するオプションを含む場合のリース期間の算定において、事後的判断を使用

従来、IAS第17号を適用してファイナンス・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日の使用権資産及びリース負債の帳簿価額を、それぞれ、その直前の日におけるIAS第17号に基づくリース資産及びリース債務の帳簿価額で算定しております。

この結果、適用開始日において要約四半期連結財政状態計算書に追加的に認識した使用権資産及びリース負債は、それぞれ884百万円であります。

要約四半期連結損益決算書への影響は軽微であります。

また、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、従来、オペレーティング・リースとして報告されていたリースに係るキャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローとして表示しておりましたが、IFRS第16号の適用により、リース負債の測定に含まれない短期リース及び少額資産のリース等を除き、従来のファイナンス・リースとして報告されていたリース負債の返済分を含めて、財務活動によるキャッシュ・フローの「リース負債の返済による支出」として表示しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、二輪車用クラッチ事業については主に二輪事業統括が、四輪車用クラッチ事業については主に四輪事業統括がそれぞれ国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。したがって、当社グループは、「二輪車用クラッチ」及び「四輪車用クラッチ」の2つを報告セグメントとしております。「二輪車用クラッチ」は、オートバイ、スクーター及びA T Vのクラッチ等を生産しております。「四輪車用クラッチ」は、マニュアル車及びオートマチック車のクラッチ等を生産しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメント

	報告セグメント			調整額	連結
	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	20,924	23,586	44,510	—	44,510
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	20,924	23,586	44,510	—	44,510
減価償却費及び償却費	△1,153	△1,740	△2,894	—	△2,894
その他の損益	△17,194	△19,646	△36,841	—	△36,841
営業利益	2,575	2,198	4,774	—	4,774
金融収益					311
金融費用					△141
持分法による投資損益					△9
税引前四半期利益					4,935

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメント

	報告セグメント			調整額	連結
	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	19,971	23,466	43,438	—	43,438
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	19,971	23,466	43,438	—	43,438
減価償却費及び償却費	△1,195	△2,147	△3,342	△5	△3,348
その他の損益	△16,239	△19,993	△36,233	△157	△36,391
営業利益	2,536	1,324	3,861	△163	3,697
金融収益					309
金融費用					△860
持分法による投資損益					△3
税引前四半期利益					3,143